第1回勝山市上下水道料金制度審議会会議録

開催日時	平成29年10月4日（水）午後3時00分～午後5時00分
開催場所	勝山市民会館 3階 第1会議室
出席者（委員）	11名
出席者（事務局）	副市長ほか9名
欠席者	委員1名

会議経過

開会（進行 事務局）

1. 委嘱式

・委嘱書交付

2. (1)副市長挨拶

(2)事務局職員紹介

3. (1)勝山市上下水道料金制度審議会の組織及び運営に関する規則（事務局）

(2)会長・副会長の選出

・会長・副会長は委員の選出について意見を求めたところ、委員より「事務局案は？」の発言があり、会長に浅沼美忠委員、副会長に中村清恵委員という事務局案を発表し、出席委員全員一致で了承された。

○会長・副会長挨拶

浅沼会長：今回3回目の料金審議会であり、初回から委員長をさせていただいておりますが、これからいろいろ議論をしていきたいと思う。上下水道料金については、なかなか難しい問題であり、やはりいろいろな視点から見ていく必要があります。行政・高齢者、子育て世代と見る立場によって意見も様々であり、どれも満足させる回答というのは難しいことだが、その中で今回、市民の皆様が集まって、システムのようなものを見いだすということが大切になる。上下水道料金は、市場原理のような者では無く、行政の財政状況、市民の経済状況等いろいろなことを皆様と検討しながら決めていきたいと考えている。

中村副会長：人が生活していく上で、快適で健康的生活を過ごすため、きれいな飲み水と水洗トイレはともに必要不可欠である。上下水道会計・農集会計が継続的に安定した運営ができるよう、この審議会の中で検証し、活発なご意見をいただければと考えている。

(3) 諮問書伝達

・副市長が諮問書を読み上げた後、浅沼会長に手渡し（その後、各委員に諮問書の写しを配布）

○副市長退席

○定足数確認 定足数については、審議会は委員の総数の半数が満たされていないと会議を開くことができないことを説明し、12名の委員のうち11名出席により定足数は満たされていることを報告

4. 議事

○議事進行 浅沼会長に交代

(1)説明事項（事務局）

①同協議会のスケジュールについて

②情報公開について

会 長：月 1 回程度の会議となります。

③勝山市の公共下水道（農業集落排水事業含む）について（事務局説明）

委 員：公共下水道の現況の全体事業費は、経費なのか収入なのか事業費の内訳について教えて欲しい。

事 務 局：下水道事業費は、管渠及び処理場と大きく 2 つに分けられ、その建設費となる。

会 長：いままで、それだけかかったということか？

事 務 局：今まですべてかかった費用である。汚水処理やそれに係わる機械設備等も含まれる。

委 員：全体事業費とは、いままでかかった累積金額ということか？

事 務 局：そのとおり。昭和 52 年から管の布設が始まり、更新も含めた建設費の累積金額である。

委 員：全体事業費について、内訳の資料がついていないので、またいずれでてくるのか？

事 務 局：第 1 回目の審議会については、上下水道事業の現況を説明し、次回より財政見通し等の説明を考えている。

委 員：公共下水道と農業集落排水事業の整備人口と水洗化人口の違いについては？

事 務 局：整備人口は、現在農集排が使用出来る人口で、水洗化人口は、下水道に接続した人口であり、まだ、未接続の人口を除いたものになる。

委 員：公共枡は整備してあるが、そこに接続していないということか。

事 務 局：そのとおり。

委 員：下水の場合、上水を使用してのことなので、上水の話も聞いてから、関連の質問を聞いたらどうか？

会 長：最初に下水で、次に上水ですが、今は下水ということなのでこのままということをお願いします。

委 員：公共下水道の現況は人口比で表してあるが、一般的な家庭だと、汚水枡は 1 戸に付 1 個であり、1 戸に対して料金の請求がでてくる。戸数で数字がでないのは、統計的な数字の表し方で人口になるためなのか、何故、戸数で表さずに、人口で表すのか教えて欲しい。

事 務 局：下水道計画を立てる場合、管渠の口径や下水処理能力については使用水量で決まる。水量は、1 人当たりの使用水量から算出するもので、1 戸当たりだと何人住んでいるのかわからない。したがって、1 戸あたりで算出ではなく、人口をもとに水量を算出して計画する。水洗化率については、戸数で表すのがわかりやすいかも知れないが、計画を基にしているので、人数というか人口で表すことになる。

会 長：世帯別で水量をだすことは可能なのか？

事 務 局：可能である。資料を作成し、次回お示しする。

会 長：公共下水道の沿革の中で、浄化センターの改築工事は定期的にやらないといけない工事なのか。また、浄化センターの包括的民間委託について包括的な意味を教えてほしい。民間委託は、勝山市だけか？

事 務 局：改築更新について、浄化センターは昭和 60 年 6 月に供用開始している。その後、約 32 年の経過している。下水処理は、機械・電気設備になるが、それらの耐用年数は 15～2

0年となっている。平成18年度より第1期の改築更新を行い、平成21年度に第2期、平成25年度より第3期と改築更新をしてきた。すべての更新を1度におこなわず、改築の必要な箇所をその都度更新しており、昭和60年度当初の設備については、更新整備を終了している。

会 長：第3期で、すべて終了したということか。

事 務 局：まだ残っており、第4期の改築を計画している。また、包括民間委託について、平成21年度より開始している。それ以前は、単年度契約で民間業者に処理場の運転管理を委託しており、処理場にかかる電気料・薬品費、修繕費は市が負担していた。見直しを行い、平成21年度より、単年度契約から5ヶ年契約での包括委託として、処理場にかかる電気料・薬品費・修繕費すべて含めて委託を行っている。その後、引き続き平成26年度から平成30年度までの5年間の委託契約を行っている。県内の包括委託の状況だが、坂井市と大野市は実施していると思われるが、次回までに調査して、報告させていただく。

委 員：委託会社は、月島メンテナンスか。

事 務 局：そのとおりです。

会 長：包括民間委託のやりかたについて教えて欲しい。

事 務 局：何処まで委託するかの内容により、ランク分けて1から3まであり、勝山市は2で委託を行っている。

会 長：ここで、次に水道の方の説明に入ってもらい、その後、まだ下水の方の質問があれば受けていきたい。

④勝山市の上水道について（事務局説明）

会 長：水道の説明で意見がありますか。

委 員：今回、数値が全然出ていないと言うことで、第2回目以降と言うことなのかも知れないが、上下水ともに今までの料金の値上げがパーセンテージでしか書いていない。当初からの流れも知りたいので、一覧で分かる料金表を示してもらいたい。

会 長：可能な範囲で作成をお願いします。

委 員：上下水の料金の比較についての表だが、単位の表示がないのでつけてもらいたい。それと、税込の表示にしてほしい、また、福井市が2019年に料金の改定予定ということで、それも比較に書いてほしい。口径別で表が作成されていないので、各口径別で出してもらいたい。

委 員：福井市は、2日の審議会で答申案が決まっただけで、今から市長に答申し議会に諮り、平成31年度に改定する予定となっている。また、下水道は、福井市は別に審議会をもっており、そちらで審議している。上下水連動して値上げすることになると思うが、水道料金は、逡増制で水道使用量が増えるほどに使用単価も増えるしくみであり、料金の値上についていろいろ議論した結果、福井市は、基本料金＋従量料金とし、基本水量を廃止することで、水の節約をしても0から10m³の基本料金内は変わらないといったことがないようになっている。勝山市は、こういった状況なのかわかりませんが、こういったことも、制度としては考えられる。次回までに用意していただきたい資料として、今後、値上げする場合には、将来的に安定的な上水道の運営として、現在の耐震化率、老朽化の更新率、包括的な委託をして経費の節減につながるのか、将来の人口予測といった資料を示していただけると、議論しやすいと思われる。

- 会 長：消費税込みというのは、利用者からは税込みがいいが、経営側からみると、税込みは経営の状況が分からなくなる部分もあるので、検討させてもらってよろしいか。
- 委 員：新聞には税込みで書かれていたからで、そういった情報と比較し検討する必要もあるのかということ。
- 委 員：内税・外税と上下すい2つに分けて表にしたらどうか？
- 会 長：次回までに用意していただく資料として、ご指摘がありました。なにかご意見がありますか。
- 委 員：福井市のように基本水量を廃止し、従量料金になるとか、基本料金の意味と、従量料金にしていけないのかについて、重要な議論になると思う。市民にとってメリットがあるのかどうかといった情報があれば教えてもらいたい。
- 会 長：基本的な考え方についてということですね。
- 委 員：料金審議会があって、その恩恵があるのかどうかが決まってくるので、一律には、いえないと思う。
- 委 員：事業者の観点からいくと、変動費と固定費がある。基本料金と従量料金について、教えて欲しい。
- 会 長：時間もだいぶ経過してきたが、簡易水道は平成30年度で終了するのか。
- 事 務 局：簡易水道は、今年度統合事業が終了するので、平成30年にすべて上水道に統合となる。
- 委 員：農業集落排水については。
- 事 務 局：整備事業は終わっているが、制度的には残る。

会 長：予定では休憩となっているが、もう少しなので次にいかせてもう。

⑤前回の答申内容と上下水道料金改定の状況（事務局説明）

- 会 長：料金改定は、基本的には議会で決まることだが、市民の目で定期的に見ていかないと突然値上げになるのはまずいということで、定期的にやりたい。今回、どういった内容になるのかわからないが、経営状況・経済状況等を見て、また次回以降議論をしていきたいと思う。今の説明について意見はあるか。
- 委 員：なし

⑥次回の協議会の開催について（事務局説明）

11月9日（木）午後2時からの予定 場所については未定（後日、連絡）
次回の審議会開催案内については、会長名で1週間前を目安に通知する。

5. その他

閉 会